

館林市

子育て支援ニーズ調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「館林市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に基づき、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

このたび、この計画の期間満了に伴い、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「館林市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学校就学前（0～5歳）のお子さんを無作為に選び、その保護者を対象にお願いするものです。ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成26年1月

館林市長 安楽岡 一雄

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛名のお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけていただく場合と、数字を記入する場合があります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは、**平成26年1月20日(月)**までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。
また、市内の保育園・幼稚園に提出していただいても結構です。

調査に関するご質問、ご意見は…

館林市保健福祉部 こども福祉課 子育て支援係

電話：0276-72-4111（内線631）

Eメール：kodomo@city.tatebayashi.gunma.jp

までお問い合わせください。



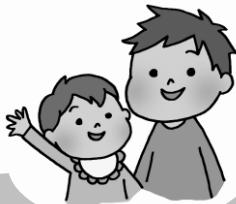
ほんちゃん

子ども・子育て支援 新制度とは？

平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が可決・成立し、同月に公布されました。

この関連 3 法は、一人ひとりの子どもの健やかな成長のために、適切な環境が等しく確保されるよう、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とし、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援を総合的に推進していくとするものです。

子ども・子育て支援の意義=子どもの視点に立った、子どもが健やかに成長することができる社会の実現



教育・保育・就労・生活環境
を社会全体で整備

この子ども・子育て支援の意義に基づき、子育ての第一義的責任は父母その他の保護者であり、家庭が教育の原点であるという前提のもと、保護者が、子育てについての責任を果たせるよう、課題解決に向けた取り組みを進めます。

- 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
- 待機児童解消に向けた保育の量的拡大・確保及び子どもが減少傾向にある地域の保育支援
- 地域の子育ての一層の充実

用語の定義

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第 22 条）
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする 0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第 39 条）
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 6 項）
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問 13 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問 14 以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの町名をご記入ください。

館林市	<input type="text"/>	町
-----	----------------------	---

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月を□内に数字でご記入ください。

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上いらっしゃる場合は、末子の方の生年月を□内に数字でご記入ください。

きょうだい数	<input type="text"/>	人	末子の生年月	平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他 ()	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親
4. 祖父母	5. 幼稚園	6. 保育園
7. 認定こども園	8. その他 ()	

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園
4. 保育園	5. 認定こども園	6. その他 ()

問9 保育園等施設の利用の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時のみ子どもをみてもらえる友人・知人がいる 5. いずれもない 	<p>⇒問9-1へ ●</p> <p>⇒問10へ</p>
---	------------------------------

問9-1 問9で「1.」または「2.」、「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。←
 祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 問9で「1.」または「2.」を回答した 祖父母等の親族に預かってもらえる方	(2) 問9で「3.」または「4.」を回答した 友人・知人に預かってもらえる方
1. 祖父母等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である	2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()	6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

↓ 問10-1へ

↓ 問10-2へ

問10-1 「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援センター）
5. 保健所・保健センター
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員児童委員
9. かかりつけの医師
10. 福祉関係相談窓口（児童相談所・こども福祉課）
11. インターネットサイト
12. その他（)

問10-2 「2. ない」に○をつけた方にうかがいます。周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートを望みますか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、「5.」を回答した方は、離職の理由について、当てはまる記号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】	(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】
1. フルタイム* ¹ で就労している	1. フルタイム* ¹ で就労している
2. フルタイム* ¹ で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイム* ¹ で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等* ² で就労している	3. パート・アルバイト等* ² で就労している
4. パート・アルバイト等* ² で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等* ² で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒離職した主な理由は、出産・育児ですか。 ア. はい イ. いいえ	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒離職した主な理由は、育児ですか。 ア. はい イ. いいえ
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

⇒問 11-1 へ

⇒問 13 へ

※ 1 フルタイム：週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労

※ 2 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

問 11-1 問 11 で「1. ~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

母親、父親それぞれについて、1 週当たりの「就労日数」及び 1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」と「帰宅時刻」、「通勤所要時間」について、**□内に数字をご記入**ください。時間が一定でない場合はもっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をお答えください。

時刻は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、**24時間制**でお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】	(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】
(a) 平均就労日数、平均就労時間 1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間	(a) 平均就労日数、平均就労時間 1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間
(b) 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間 家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 通勤所要時間 約 □ □ □ 分	(b) 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間 家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 通勤所要時間 約 □ □ □ 分

問 11 の (1) または (2) で「3, 4.」(母親もしくは父親がパート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

問 12 フルタイムへの転換希望はありますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
(a) フルタイム ^{※1} への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
(b) フルタイム ^{※1} への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
(c) パート・アルバイト等 ^{※2} の就労を続けることを希望する	3	3
(d) パート・アルバイト等 ^{※2} をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

※1 フルタイム：週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労

⇒問 14 へ

※2 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

問 11 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 13 就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号もしくは記号 1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが □ □ 歳 になったところに就労したい	2. 1 年より先、一番下の子どもが □ □ 歳 になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい 【希望する就労形態】 ←————— ア. フルタイム ^{※1} イ. パートタイム、アルバイト等 ^{※2} 就労日数 1 週当たり □ 日 ← 就労時間 1 日当たり □ □ 時間 ←	3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい 【希望する就労形態】 ←————— ア. フルタイム ^{※1} イ. パートタイム、アルバイト等 ^{※2} 就労日数 1 週当たり □ 日 ← 就労時間 1 日当たり □ □ 時間 ←

※1 フルタイム：週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労

※2 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14-5 利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

すべての方にうかがいます。

問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業の番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。

	保育料等 (参考)
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	公立) 5,200 円/月額 私立) 施設により異なります
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	公立) 現在行っていません 私立) 施設により異なります
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県の認可を受けたもの)	0 円~44,100 円/月額 ※所得税額等で決定します
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ機能)	施設により異なります
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	施設により異なります
6. その他の認可外保育施設 (託児所など)	施設により異なります
7. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	平日) 700 円/時間
8. その他 (小規模な保育施設、家庭的保育、居宅訪問型保育)	館林市にはありません
9. 利用を特に考えていない	

問 15-1 問 15 のような事業を利用したい場所について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. 市内 | 2. 他の市町村 () | 市・町・村 |
|-------|--------------|-------|

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	A		B		C	
	知っている	知っている	これまでに利用したことがある	これまでに利用したことがある	今後利用したい	今後利用したい
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① ママパパ学級	1	2	1	2	1	2
② 保健センターの情報、相談事業	1	2	1	2	1	2
③ 保健センターの学級、講座	1	2	1	2	1	2
④ 児童センター、児童館	1	2	1	2	1	2
⑤ 家庭児童相談室（こども福祉課）	1	2	1	2	1	2
⑥ 子ども相談室（教育研究所、青少年センター）	1	2	1	2	1	2
⑦ こどばの指導教室	1	2	1	2	1	2
⑧ ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育園などの利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼稚園や保育園などの事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。(1) (2)について当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯の具体的な数字を口内に必ず（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用希望はない	} ⇒	利用したい時間帯					
2. ほぼ毎週利用したい		□	□	時	□	□	分から
● 3. 月に1～2回は利用したい		□	□	時	□	□	分まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用希望はない	} ⇒	利用したい時間帯					
2. ほぼ毎週利用したい		□	□	時	□	□	分から
● 3. 月に1～2回は利用したい		□	□	時	□	□	分まで

問 20-1 問 20 の(1)もしくは(2)で「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他（)	

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯の **具体的な数字を口内に必ず**（例）09時00分～18時30分のように **24時間制** でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | | | | | | |
|---------------------|-----|----------|---|---|---|---|-----|
| 1. 利用希望はない | } ⇒ | 利用したい時間帯 | | | | | |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | □ | □ | 時 | □ | □ | 分から |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | □ | □ | 時 | □ | □ | 分まで |

→ 問 21-1 問 21 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号 **すべてに** ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他（ | ） |

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
（幼稚園や保育園などを平日利用する方のみ）**

問 14 で平日の定期的な幼稚園や保育園などの事業を「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

**該当しない方は、
問 23 へお進みください。**

問 22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園などの事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. あった | ⇒ 問 22-1 へ | 2. なかった | ⇒ 問 23 へ |
|--------|------------|---------|----------|

問 22-1 問 22 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園や保育園などの事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号 **すべてに** ○をつけ、それぞれの日数も **口内に数字でご記入** ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	□ □ 日	} ⇒ 問 22-2 へ
イ. 母親が休んだ	□ □ 日	
ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	} ⇒ 問 22-5 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	
オ. 病児・病後児保育を利用した（病児保育室ぱんだなど）	□ □ 日	
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日	
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
ク. その他（	□ □ 日	

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。



問27 宛名のお子さんについて、小学校就学後は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年及び高学年、それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を□内に数字でご記入ください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時30分のように24時間制でご記入ください。

①小学校低学年のうちは・・・ (1～3年生)		②小学校高学年になったら・・・ (4～6年生)	
過ごさせたい場所	頻度	過ごさせたい場所	頻度
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい	3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい	4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい	5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	6. 放課後児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい	8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

放課後児童クラブ／放課後子ども教室とは…

■放課後児童クラブ

学童保育などとも呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない、おおむね10歳未満の子どもに対し、指導員のもとで適切な遊び及び生活の場を提供しています。

■放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できるとされています。

問 28 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

該当しない方は、
問 29 へお進みください。

問 28-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
(a) 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
(b) 現在も育児休業中である	2	2
(c) 育児休業中に離職した	3	3

⇒ 問 28-3 へ
⇒ 問 28-9 へ
⇒ 問 29 へ

問 28-2 で「(a) 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 28-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望し、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

	(1) 母親		(2) 父親	
	はい	いいえ	はい	いいえ
年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1	2	1	2

問 28-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」として何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

	(1) 母親			(2) 父親				
① 実際の取得期間	□	歳	□ □	ヶ月	□	歳	□ □	ヶ月
② 希望の期間	□	歳	□ □	ヶ月	□	歳	□ □	ヶ月

問 28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字をご記入ください。

	(1) 母親			(2) 父親				
3歳まで取得できる制度があった場合の希望の期間	□	歳	□ □	ヶ月	□	歳	□ □	ヶ月

問 28-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 28-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(1)(2)それぞれ、当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

① 「希望」より早く復帰した方	(1) 母親	(2) 父親
(a) 希望する保育園に入るため	1	1
(b) 配偶者や家族の希望があったため	2	2
(c) 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	3
(d) 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
(e) その他	5	5

「(e) その他」を選択した方はその理由をご記入ください。

②「希望」より遅く復帰した方	(1) 母親	(2) 父親
(a) 希望する保育園に入れなかったため	1	1
(b) 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
(c) 配偶者や家族の希望があったため	3	3
(d) 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
(e) 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
(f) その他	6	6

「(f) その他」を選択した方はその理由をご記入ください。

問 28-2 で「(a) 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親	
(a) 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1	1	⇒問29へ
(b) 利用した	2	2	
(c) 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	3	3	⇒問28-8へ

問 28-7 で「(c) 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 28-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号 すべてに ○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
(a) 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
(b) 仕事が忙しかった	2	2
(c) 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
(d) 短時間勤務にすると保育園の入園申込の優先順位が下がる	4	4
(e) 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
(f) 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
(g) 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
(h) 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8	8
(i) 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
(j) その他	10	10

「(j) その他」を選択した方はその理由をご記入ください。

問 28-2で「(b) 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 28-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
(a) 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
(b) 1歳になる前に復帰したい	2	2

すべての方にうかがいます。

問 29 館林市における子育て環境について、どのように思いますか。
それぞれの当てはまる番号に○をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
①子育て情報の発信 ・市のホームページの内容や問合せへの対応	1	2	3	4	5	6
②子育て仲間の交流支援 ・育児サークル等の活動周知や支援	1	2	3	4	5	6
③児童館等の居場所づくり ・子ども同士が交流する機会と場所の提供	1	2	3	4	5	6
④幼稚園の施設整備 ・快適な教育環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑤保育園の施設整備 ・快適な保育環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑥就学前の教育 ・小学校への就学を意識した教育の取組み	1	2	3	4	5	6
⑦就学前の保育 ・小学校への就学を意識した保育の取組み	1	2	3	4	5	6
⑧特別保育 ・延長保育、病児・病後児保育、保護者のニーズに合っているかなど	1	2	3	4	5	6
⑨放課後児童対策 ・放課後の児童を安心して預けることができる子育て環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑩子どもの心とからだの相談体制 ・子どもの健康や発達に関する相談など	1	2	3	4	5	6

問 30 あなたは、子育てが楽しいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても楽しい	2. とてもつらい
3. つらいこともあるが楽しいことの方が多い	4. 楽しいこともあるがつらいことの方が多い

問 30-1 問 30で「2. とてもつらい」または「4. 楽しいこともあるがつらいことの方が多い」に○をつけた方にうかがいます。

つらいと思う理由とつらさを解消するために必要な支援は何だと思えますか。ご記入ください。

問 31 最後に、本市の子育て支援についてのご意見、ご提案をお書きください。（自由記入）

(1) 子育て環境について

(2) 家庭と就労の両立支援について

(3) 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）について

(4) 放課後児童対策（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）について

(5) その他

アンケートは以上です。

お手数ではございますが、同封の返信封筒に入れて、
切手を貼らずに、封をして提出や投函してください。

提出や投函期限：平成 26 年 1 月 20 日（月）まで

ご協力ありがとうございました。



ぽんちゃん